

総合工学委員会・機械工学委員会合同分科会の設置について

分科会等名：工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○総合工学委員会 機械工学委員会
2	委員の構成	30名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	従来から様々な学会・協会・研究会で幅広く安全についての議論がおこなわれてきているが、安全技術はそれぞれの分野の知見と経験に深く根ざした個別的技術として発展し、他の分野の人からはなかなか窺い知れないところもある。しかし、各分野で開発、実現されている安全技術の共通する考え方を一般化、原則化することで他の分野の安全技術にも応用可能な道が開けるはずである。これまで、安全には工学としての技術だけではなく、人文科学、社会科学が深く係わりあっていることを念頭に、「安全の理念」を検討し、とりまとめた。この「安全の理念」をもととして、第23期までに「安全目標（許容リスク）」、「老朽および遺棄化学兵器の廃棄に係るリスク評価とリスク管理」、「車の自動運転」の小委員会活動を行ってきた。第24期は、「車の自動運転」については、課題別委員会として設置し、他の2小委員会は、それぞれ具体的提案、社会受容の検討等を継続して行う。また社会へ積極的に発信し世の中の安全向上へ寄与するために長年実施してきた学協会の横断的な集まりである「安全工学シンポジウム」の開催を担当していく。さらに必要を認めた場合は、関連小委員会・WGを設置し機動的に審議を行う。
4	審議事項	1. 安全目標・許容リスクの考え方 2. 安全・安心への総合的取り組み 3. 老朽および遺棄化学兵器の廃棄に係るリスク評価とリスク管理に係る審議に関すること
5	設置期間	平成29年11月24日～平成32年9月30日
6	備考	※委員構成人数の改訂

	本分科会は審議対象が広いことから、今後、第三部以外からの委員追加の可能性があるため、30名に増員するもの。
--	---